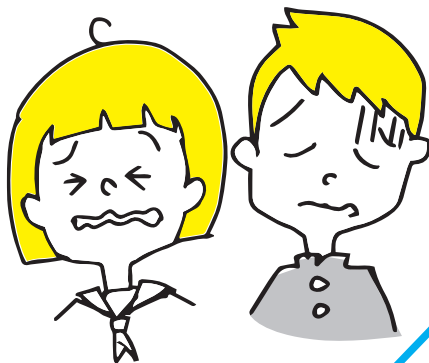


あましんレポート

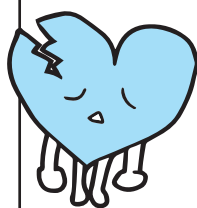
2024.08 臨時
特別号

夏休み明けに子どもたちが直面する心の問題が深刻化しています。この課題を皆様に再認識いただくため、特別号『あましんレポート』を緊急発行いたします。

今年
は
9月2日
から
新学期



夏休み明け 心のSOSを 見逃さないで!



保護者の皆様へ

夏休み明けは、子どもたちにとって心の負担が最も大きくなる時期です！



千葉県議会議員
雨宮しんじ

18歳以下の日別自殺者数 (平成27年版自殺対策白書から抜粋*)



*過去約40年間の厚生労働省「人口動態調査」の調査票から内閣府が独自集計

夏休み明けの9月2日を迎えるにあたって

子どもたちの心のケアが最優先

今年9月2日から新学期が始まります。新しい学期のスタートを楽しみにしている子どもがいる一方で、この日は小中高生の自殺者数が一年で最も多い日であり、非常に注意が必要な日でもあります。



『9月1日問題』と呼ばれるこの現象は、特に夏休み明けの子どもたちにとって大きなストレスがかかることが原因の一つとされています。近年のデータを見ても、小中高生の自殺者数は増加傾向が続いており、2023年には全国で513人の小中高生が自ら命を絶ちました。これは、過去最多となった2022年の514人とほぼ同水準であり、深刻な状況が続いています。

子どもの心の声に耳を傾けましょう。

子どもたちが「学校に行きたくない」と感じる背景には、いじめや友人関係の悩み、学業へのプレッシャーなど様々な要因が考えられます。このようなとき、親や周囲の大人が子どもの気持ちに寄り添い、無理に登校を強いるのではなく、まずは話を聞いてあげることが重要です。時には、学校を休むという選択肢も尊重することが、命を守るためには必要です。

千葉県の現状と対応の重要性

千葉県でも、自殺者数の増加は深刻です。平成30年から令和4年の5年間で、県内の児童・生徒の自殺者は合計で139人にのぼり、その内訳は小学生6人、中学生42人、高校生91人となっています。また、いじめの認知件数や不登校児童・生徒の数も増加傾向にあり、子どもたちが抱える問題は深刻です。

未来を守るために

9月2日を迎えるにあたり、私たち大人が子どもたちの心の声に耳を傾け、適切なサポートを提供することが、子どもたちの命を守るために重要です。子どもたちが安心して学校生活を送れるように、家庭、学校、そして社会全体で協力していきけるよう尽力してまいります。



相談窓口などをご活用ください！

千葉県としても、子どもたちが気軽に相談できるSNS相談窓口(LINE)や、学校などと連携した取り組みなど、全力で対策を講じていますが、一番身近なご家族こそが子どもたちの最大の理解者であり味方です。お子さんのちょっとした変化・違和感を感じたら、まずはご相談ください。

夏季休業明けにおける
児童生徒の自殺予防に
関する情報はコチラ



SNS 相談窓口



総合情報ページ



皆さんと共に
子どもたちに
明るい未来を



公式ホームページはこちら
ama-shin.net

雨宮しんご

検索

LINE 公式アカウント
友達募集中です！



プロフィール

- ・44歳、2児の父、犬2匹
- ・2023年千葉県議会議員
- ・2022年成田市長選挙惜敗
- ・成田市議選4期連続トップ当選
- ・第41代成田市議会議長
- ・明治大学大学院修了
- ・日本サーフィン連盟公認インストラクター

主な役職

千葉県議会議員

- ・商工労働常任委員会 委員
- ・印旛沼水質保全協議会 顧問
- ・千葉県議会首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟
- ・千葉県資源エネルギー問題懇話会
- ・千葉県議会観光立県推進議員連盟
- ・千葉県議会動物愛護議員連盟